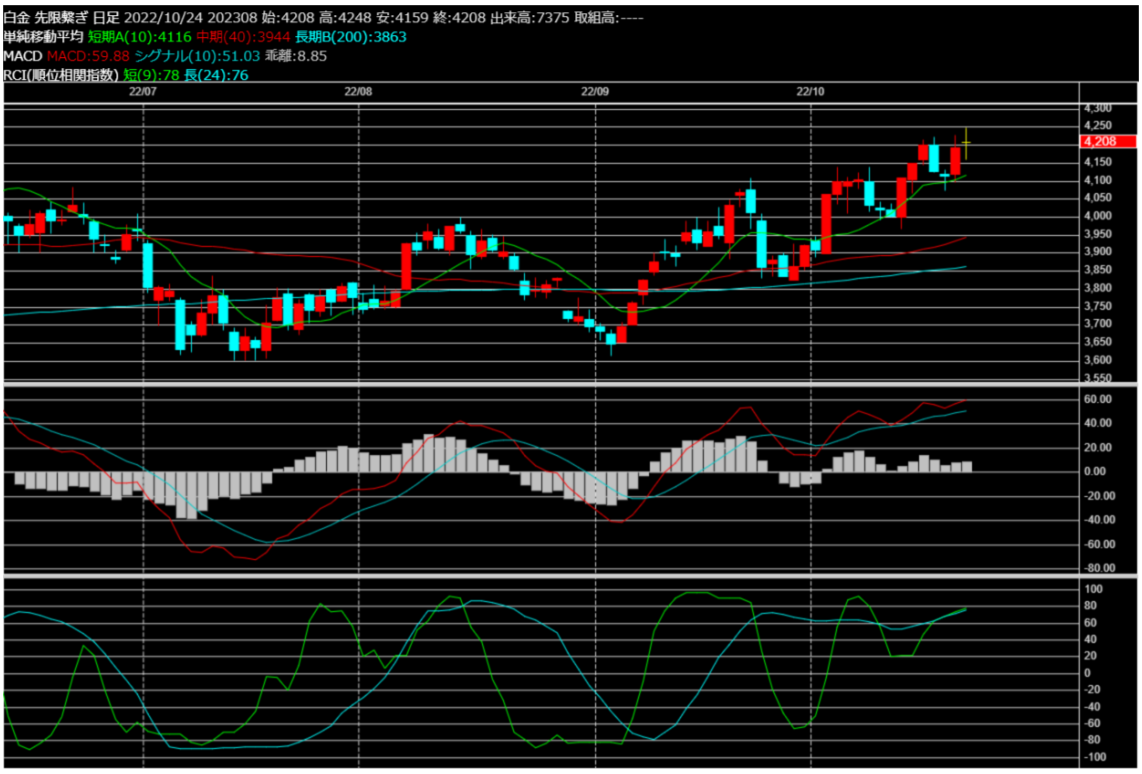
2022/10/24

＜白金標準先物、WPIC は 2023 年以降プラチナ供給不足予想・・＞



（出所：オアシス）

中国の共産党大会で習近平主席はゼロコロナ政策の継続を示唆したが、中国政府は入局者の隔離期間を 10 日間から 7 日間へ縮小する憶測が流れている。またトラス英国首相の辞任を受けてポンドが買われるなどリスクの巻き戻しを見せている。

特に WPIC はプラチナ需給バランスに対して 2023 年以降は大幅な供給不足になる可能性が高いと報告している。特に中国税関のデーターから 2019 年以降の中国は実需を超える 124.4 トン以上のプラチナを輸入しており、2021 年と 2022 年の予想に基づく 62 トンの余剰在庫を優に超える量を示している。また先物市場でも NY マーカンタイル取引所の指定倉庫のプラチナ在庫は 2021 年 7 月に 717697 トロイオンス（22.3 トン）を保有していたが、ロシアの侵攻以降は減少し続け、現在は 170556 トロイオンス（5.3 トン）まで減少しており、中国の引き合いが強い事を示している。またコメックス取引所のプラチナ先物オプションでも 4 月 19 日以来のショートポジションがロングポジションへ転換するなど、先高の動きに備えている雰囲気でもあり、白金標準先物は 4100 円を下回ると買われる動きを続けると思える。

＜テクニカル＞

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では MACD が切り上げながら、シグナルも上昇を示しており、RCI でも短期と長期が重なりながら上昇を見せている。そのためオシレーターは強気に域と思える。ただ 4225 円以上で高値が抑えられた値動きを見せており、10 日移動平均線を下回る場合は 4000 円へ向けた下押しに注意が必要と思える。

2022/10/24

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

〇商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,188,000 円（2022 年 10 月 24 日現在）です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。 〇商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から70倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。 〇商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 37,620 円（2022 年 10 月 24 日現在）です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社（商品先物取引業者）の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当（東京）電話 03-3249-8827 （受付時間：平日 8:30～17:30）

証券・金融商品あっせん相談センター https://www.finmac.or.jp 日本商品先物取引協会相談センター https://www.nisshokyo.or.jp